
目次

はじめに	5
------	---

第一部

第1章 聴覚障害者の進学と就労	
——現状と課題	坂本徳仁 14
第2章 手話通訳者養成における「ろう者のやり方」の提示と学習者の認識	
	北林かや 31
第3章 “まざる”ことば、“うごく”からだ ——ケニア初等聾学校の子供と 周囲の人々の日常のやりとりを事例に	古川優貴 56
第4章 言語の費用負担と言語的正義の問題	坂本徳仁 103
第5章 アメリカにおける障がい者政策	
——実証分析のサーベイ	藤井麻由 118

第二部

第6章 音声認識エンジンを用いた情報保障の現状と課題	
	坂本徳仁、櫻井悟史、鹿島萌子 144
補論 音声認識を用いた情報保障システム運用の課題	坂本徳仁 157
第7章 手話通訳事業の現状と課題	
——3つの自治体調査から	坂本徳仁、佐藤浩子、渡邊あい子 160

補 論 手話通訳制度の改善に向けて	坂本徳仁 171
第 8 章 障害者差別禁止法の経済効果	坂本徳仁 179

第三部

第 9 章 文字情報支援とインクルーシブな社会 ——要約筆記と字幕の活動を通して	三宅初穂 191
第 10 章 難聴者、中途失聴者への支援	高岡 正 198
第 11 章 手話通訳制度に関する全通研からの提言 ——自治体委員会からの提言を踏まえて	近藤幸一 207
第 12 章 障害者権利条約下におけるコミュニケーション支援の課題	松本正志 217
第 13 章 パネルディスカッション 障害者権利条約下におけるコミュニケーション支援の課題 近藤幸一・高岡正・立岩真也・松本正志・三宅初穂	223